

(山崎) また、当市では、市社協が市民児協事務局を担っています。各職員は、それぞれいくつかの担当地区を持ち、その地区の民児協と社協を同じ職員が担当していますし、必ず月1回行う民児協の定例会に出席しています。

地区ごとの温度差は、それほどないように感じていますが、課題は地区社協と地区民児協の区域が異なり、1つの地区社協に複数の地区民児協がまたがってしまっていることです。

木野 匝瑳市でも、地区社協の役員・構成員には、地域の様々な団体の方に担っていただいているのですが、その中核は民生委員です。他団体のような短い任期の方とは異なり、継続して活動を行っていただけるというのが大きな理由です。民生委員がいないと、地区社協は機能しないというのが現状です。

地区社協の活動については、各地区によって温度差がありますが、1つの小学校単位の中で、こんなにいろいろな団体が集まるというのは、地区社協しかないと思っています。

羽田 鴨川市の地区社協活動は、11ある地区によって、その活動の差は大きく、実に様々です。

ある地区では、年に1度の老人会や毎月のお弁当配達を行い、また別の地区では新聞・広報紙の発行を行ったり、自主財源を確保できているようなところもあります。

また、地区社協の構成員は、民生委員が全般的に参加しているところもあれば、きちんとした役割分担のもと、地域ボランティアや有志の方たちと協力している地区もあるなど、地域差があります。

榎本 鴨川市での課題は、地区社協活動が活発な地区ほど、その民生委員が忙しくなることです。行政と市社協が、何かの事業を地区で取り組む際、どうしても民生委員が主体となるため、活動量が増えてしまいます。

大野 流山市では、民生委員になるのと同時に、各地区社協の構成員となり、サロンをはじめとす

る活動に積極的に協力しています。

ただ、福祉の向上を目指す地区社協と協力し合うことは非常に大切ですが、民生委員が地区社協の活動を担いすぎている面も見受けられ、やりがいがある半面、(民生委員以外の)担い手を確保していただきたいところもあります。

榎本 長く委員をやっている方は、民生委員活動も地区社協活動への協力・参加の意味もわかっているのが大丈夫ですが、新任委員には民生委員活動と地区社協活動のラインがわからないと思います。そうすると、どうしても負担感とストレスを感じてしまうものです。ある程度、納得の上で活動してもらわないと、せっかくの人材を失うことになってしまいます。ですから、新任委員には、まず民生委員としての役割や活動を覚えてもらうことを優先させた方がいいと思います。

民生委員が、地区社協の母体となり全部引き受けてしまうと、これから見守り世帯がますます増えていくにつれて、要支援者の見守りもできなくなってしまいます。

行政・社協とうまく連携していかなければなりません。地区社協の役員には、1、2年で交代してしまう団体の人だけではなく、長く続けていただける一般の方も入れていかなければいけないと思います。

もし、全て民生委員が背負ってしまった場合、万が一の時、民生委員その人がいないと大変なことになります。何かあった時、地域で見守ることができるような体制(マニュアル)を作っていく必要があります。

羽田 実は、前回の一斉改選時、はじめは多くの民生委員が継続することに二の足を踏んでいるところがありました。当時、都会だけのことだと思っていた「高齢者の孤立死」問題が、市内でも起きたことが大きかったように思います。周囲から「民生委員は何をしていたの?」という声も出てきてしまい、民生委員が非常に辛い思いをすることがありました。

それと同時に、概ね半数の方は、民生委員活

(P14へ→)

座談会 × 4市概況

いちかわ 市川市

東京都に隣接し、都心から20km圏内にある市川市。首都圏有数の労働供給地である一方、200年以上の歴史を持つといわれる「市川の梨」や、かつて製塩業と成田詣の中継地として名を馳せた行徳の海苔養殖など、都市近郊農漁業の街としての顔も持つ。

また、自然が多く閑静な街として、古くから多くの文人墨客に愛され、近年では日本画の巨匠・東山魁夷がその半生の居を構えていた。

●人口 / 471,955人 ●高齢化率 / 17.0% ●民生委員数 / 定数462名、実数457名 ●委員担当世帯数 / 平均545世帯(最大1,280、最小102) ●市民児協事務局 / 社協 ●地区民児協 / 18地区(独自の区域) ●地区社協 / 14地区(町会・自治会区域)

そうさ 匝瑳市

平成18年、旧八日市場市と旧野栄町が合併して誕生した「匝瑳市」。日本有数の栽培面積を誇る「植木の街」、また市内各所に200本以上もの巨木(※1)が残る「巨木・巨樹の街」として知られている。

また、難読・誤読地名番付(※2)では、西の横綱・兵庫県宍粟市と並んで、東の横綱にその名が挙げられている。その他、国の重要文化財に指定される飯高寺の総門・講堂などの文化遺産や、農産物では県内で唯一匝瑳市のみで生産されるという赤ピーマンなどの特産品がある。

●人口 / 39,813人 ●高齢化率 / 26.5% ●高齢者世帯 / 7,574世帯 ●民生委員数 / 定数87名、実数86名 ●委員担当世帯数 / 平均144世帯(最大492、最小65) ●市民児協事務局 / 行政 ●地区民児協 / 6地区(行政区域) ●地区社協 / 11地区(小学校区域)

(※1) 市HP上の定義では、巨樹・巨木は地上1.3mの高さで幹周り3m以上の樹木

(※2) 竹内正浩「日本の珍地名」(文春新書)

(参考資料等) ●概要:各市の市役所及び観光協会・JA等のHP ●各データ(H23.12.1現在):「活動実態調査(事務局用)」から抜粋



東京・秋葉原駅と茨城・つくば駅を結ぶ「つくばエクスプレス」の開通(平成17年)に伴い、沿線の開発が進む流山市。都心までの通勤の利便性と自然が多く残る住環境の良さから、若い世代を中心に年々人口が増加している。

江戸川・利根運河という2つの水運に恵まれたこの地は、かつて江戸の物産集積地として栄え、また新撰組局長・近藤勇、俳人・小林一茶所縁の地としても知られる。

●人口 / 164,879人 ●高齢化率 / 20.7% ●民生委員数 / 定数163名、実数154名 ●委員担当世帯数 / 平均400世帯(最大850、最小40) ●市民児協事務局 / 社協 ●地区民児協 / 8地区(中学校区域) ●地区社協 / 15地区(小学校区域)

かもがわ 鴨川市

平成17年、旧天津小湊町と合併し、県内有数の観光の街である鴨川市。市内には、棚田百選に選ばれた長狭地区の大山千枚田や、源頼朝公所縁の仁右衛門島、日蓮聖人所縁の清澄寺や鯛の浦など、自然と文化に触れ合える街として、年間通して多くの観光客が全国から訪れる。また、その温暖な気候から花卉栽培が盛んな他、地場産の山海の珍味をふんだんに盛り合わせた「おらが丼」は市内約50店舗で食べることができる。

●人口 / 36,328人 ●高齢化率 / 31.3% ●高齢者世帯 / 4,317世帯 ●民生委員数 / 定数・実数78名 ●市民児協事務局 / 行政 ●地区民児協 / 4地区(中学校区域) ●地区社協 / 12地区(小学校区域)